



ほっかいどうムラの宝物

タカラモノを  
さがしに出かけよう！

## 北海道遺産構想第2章「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」

眠らせておくのは、もったいない。  
このままでは、埋もれていってしまう。  
というわけで、



「次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物」をキーワードに、地域の人々と常にとともにあり、大切に守られ、愛され、誇りとして存在している52の北海道遺産が選定されました。しかし、広い北海道にはまだまだ無数の「宝物」が存在しています。北海道各地の宝物を掘り起こし、発信し、活用することで、地域やまちの魅力を創造していくという北海道遺産構想の趣旨を全道へ波及させるのが「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」です。

“ムラ”は、人々の集まり・集合体を表わしています。思いを同じくする人たちの集まり、地域単位の集まり、自治体、団体、企業、商店街など、人が集まるところに、宝物は生まれ、育まれます。当プロジェクトは、それらの宝物を「ムラ」の誇りとして広く社会に発信し、また地域を元気にする魅力の種として活用し、その価値を次世代に引き継いでいこうとするものです。

『ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト』では、実行委員会による審査を通過したものを「ムラの宝物」として登録します。学術的な価値ばかりではなく、ユニークな宝物、遊び心のある宝物、人物ももちろんOKです。知る人ぞ知る、このムラならではの「宝物」や「売りもの」「ごはん」を広く募集します。

### 『ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト』のジャンル

- (1) 「ムラの宝物」＝自然、歴史、文化、生活、産業、人など広い意味での地域の自慢
- (2) 「ムラの売りもの」＝特産品など地域が自信を持ってお勧めする売りもの
- (3) 「ムラのごはん」＝売り出し中の料理や地域が育ててきた食文化
- (4) 「ムラの宝物の発掘・活用」＝地域学や地域遺産の発掘、ユニークな地域再生プロジェクトなど地域の宝物を掘り起こしたり活用している事例

※単体に限らず、たとえば坂の多いまちが「わがまちの坂のある風景10選」など、新しくPRしたいテーマでの申請も受け付けます。

※国・道・市町村の文化財としてすでに登録されているものは対象外となります。（複数の宝物を一括して登録申請する際、文化財が含まれるケースは受け付けます。）

### ◆登録に至るまでの手順と、登録後の活用について

#### [登録申請について]

応募者は①自治体(市町村)、②商工会・商工会議所、③観光協会に限定させていただきます。

※個人や企業などが応募する際は、上記応募者と協議・連携のうえ、応募者の名義で登録申請を行ってください。（将来的には一般の方からの応募も受け付ける予定です）

#### [登録手順]

- (1) 候補申請：候補名、概要のほか、写真等の資料を適宜添付して応募
- (2) 内容確認：必要に応じて事務局による応募内容の基礎調査
- (3) 登録審査：『ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト実行委員会』による審査
- (4) 登録：『ムラの宝物』『ムラの売りもの』『ムラのごはん』として登録

●申請は随時受け付けます。

●登録審査は年2回を予定しています。



お問合せ先

NPO法人 北海道遺産協議会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目 北一条ビル5階

TEL011-218-2858 FAX011-232-4918

(メールアドレス) info@hokkaidoisan.org

(HP) http://www.hokkaidoisan.org/

